

# 次代を担う研修生たちへ。

ちようせんしゃ

海を渡る前、緊張と不安の入りまじった表情をしていた研修生たちの表情は、それぞれの学校での事業報告会のときには、自信に満ちあふれたものに変わっていました。そんな彼らの成長を受け止めた両校の校長先生に、研修を終えた生徒たちについてお話を伺いました。



## 百聞は一見に如かず

町立白鷹中学校  
小林宏一郎 校長

町青少年国際交流事業により、本校の3年生8名が豪州・ケアンズに派遣されました。8名にとっては初の海外渡航であり、江戸末期から明治初頭にかけて欧米に渡った海外使節団と同

じような思いを持って参加したに違いありません。「日本（白鷹）の発展に寄与するため、直に触れる海外の文化から多くのことを学んできた」と。

今、全国的にグローバルな人材の育成が求められています。2泊のホームステイや自主研修などでの身ぶり手ぶりを交えた英会話の経験により、コミュニケーションの大切さや文化の違いはもちろん、日本を離れて初めて知る白鷹の良さや温かさ、白鷹に取り入れた考え方などをも実感できたことを報告してくれました。まさに『百聞は一見に如かず』です。英語を交えて報告する8名は、実に堂々としていました。



## 白鷹町と世界の架け橋に

県立荒砥高等学校  
星 和彦 校長

本校の生徒4名が、町青少年国際交流事業に参加させていただいたことに、深く感謝しています。白鷹町を訪れる観光客が増え、同じ職場の中で諸外国の人々とともに働くこと

が予想される今日では、外国語が理解できるだけでなく、その国の文化や風習をも理解していなければならなくなっています。今回の研修に参加した生徒は、オーストラリアでのホームステイなどを通して、日本とは異なる文化などに数多く触れ、その大切さの一步を学んできたことだと思います。この事業に参加した生徒には、校内のリーダーとしての役割のほか、外国人観光客へのご案内など、白鷹町を訪れる外国の方々に積極的に係わって欲しいと思います。そして将来は、白鷹町と諸外国との架け橋となる人材に育ってくださることを期待しています。

## 「町民向け報告会を開催します」

白鷹町青少年国際交流事業に参加した中学生・高校生による、町民向けの報告会を下記のとおり開催します。ぜひお越しください。

- 日 程 3月25日(土) ※開演時間未定
- 会 場 白鷹町産業センター(パワーセンター白鷹)大ホール
- 入場料 無料

※今年度も、地域おこし協力隊との合同報告会になります。詳しくは「広報しらたか3月13日号」でお知らせします。

【問い合わせ】企画政策課企画調整係 ☎85-6123



昨年度の参加者による報告会の様子